

第8回理事会

2022.10.04

【協議事項】

- ① たちかわ楽市出店事業について
- ② チャリティーコンサートについて
- ③ クリスマス家族例会について
- ④ 新年賀詞交歓会について
- ⑤ 地域応援プロジェクトベンチ設置事業について
- ⑥ アプリ起案書
- ⑦ 入会推薦申込書について

中村知義氏・原 宏樹氏・齋藤 崇氏

- ⑧ その他

【検討事項】

- ① 第39代会長選任 → 高島 優会員
- ② 第2回指名委員会
- ③ 10月15日夜間例会の件
- ④ クリスマス・ドロップ事業の件
- ⑤ 次回理事会の件
- ⑥ その他

ニコニコ発表 親睦活動委員会 松本禎之委員

大野芳裕会長

池田図書館館長、本日はようこそお越し下さいました。吉田様も本日はよろしくお願ひします。卓話楽しみにしております。

中川夕香幹事

池田館長、本日はお忙しい中ありがとうございました。卓話そして今後のレビュー大賞事業まで宜しくお願ひします。

ロータリー財団・米山奨学委員会一同

皆さん、先月は米山寄付へのご協力ありがとうございました。10/18からは、ロータリー財団寄付のお願いをする予定ですので、こちらも宜しくお願ひします。銀行振込での寄付も可能ですので、多くの会員のご協力をお願ひします。

井山光一会員・住吉正光会員

チャーミングな森林さんにニコニコを頼まれ、喜んでニコニコ致します。

中山廣志会員

22才ヤカルト村上君の三冠王と王選手の記録を抜きピックリ!を祝して!

山口達夫会員

暑い夏が過ぎて、クールビズ終了ですネ。いよいよダッシュこぶしを楽しみにしています。

岩崎春伸会員

立川市図書館館長 池田様。本日の卓話、お越しいただきありがとうございます。

伊藤良三会員

池田朋一様、三十五周年では電子図書寄贈にあた

リアドバイス等ありがとうございました。本日の卓話、宜しくお願ひ致します。

森谷健一会員

館長~!! いつもお世話になっています。今日はよろしくお願ひ致します。

本日合計 39,000円
本年度累計 760,000円
本日のコーヒーBOX 1,133円
コーヒーBOX累計 6,833円



出席報告 出席委員会 富士雅好副委員長

10月4日(火)	
会員数	86名
出席義務会員	81名
出席免除会員	5名
当日出席会員	65名
出席率	78.30%
前々回の出席率	



※ハロウィン仮装した富士副委員長でした!

掲示板

例会変更

- ◆東京昭島ロータリークラブ
11/3(木) 祝日休会
11/17(木) 同日夜間例会に変更
12/22(木) 同日クリスマス例会(夜間)に変更
- ◆東京井の頭ロータリークラブ
新型コロナウイルス感染拡大防止のため、当分の間、
メークアップ対応は中止します。
- ◆東京国分寺ロータリークラブ
11/1(火) 祝日週休会
11/22(火) 祝日週休会
11/29(火) 23日(木)東京国分寺RCカップに振替
12/6(火) 3日(土)ニコニコアート展に振替
12/20(火) 同日 忘年家族例会(夜間例会)

*コロナ対策を継続中のため、ビジャーの方は事前にご連絡願います。休会日・移動例会日の例会場でのマイクはお受けできません

今後の予定

- 10/18(火) 卓話例会 「R財団卓話」
元R財団奨学生 WHO勤務 武見綾子様
- 10/25(火) 新会員歓迎夜間例会「新会員卓話」
- 11/1(火) 定款第7条第1節により休会
- 11/8(火) 11/12・13 たちかわ楽市に振替
- 11/12(土) たちかわ楽市(12(土)~13(日))

tachikawakobushi-rc.tokyo

Weekly Report

発行者／東京立川こぶしロータリークラブ 会長 大野芳裕

事務局／東京都立川市高松町3-13-17 イグレック立川501号 tel: 042-527-0524 fax: 042-522-5241 E-mail: kobushi@cap.ocn.ne.jp

例会場／ホテルエミシア東京立川 東京都立川市曙町2-14-16 tel: 042-525-1121 記事・写真担当：公共イメージ委員会

Weekly Report

2022.10.04 第1672回

2022-23年度クラブテーマ

友情を育み 寛容の心で
地域に世界に行動しよう

会長 大野芳裕 幹事 中川夕香

東京立川こぶしロータリークラブ

District 2750 Since 1986.2.5

卓話例会 図書館長 池田朋之様 (電子書籍寄贈式)



会長挨拶及び会務報告・お客様ご紹介 大野芳裕会長



●クラブ細則第3条第2節に則り、役員及び理事を選挙する会合2ヶ月前までの例会で立候補または指名があるか確認することとなっています。3年度後の第40代目の会長に立候補される方は、今月10月25日の夜間例会までに私までお知らせ頂ければと思います。

●私の昨年の本の購入履歴は、購入した半分以上はアマゾンの電子図書で購入しています。アマゾンで本を買う時、口コミやレビューが大変参考になります。一方通行の情報だけでなく、ユーザー達の意見が非常に多く、とても重要なになってきているのかなと思います。

今年度の事業の一つである立川市図書館へ電子図書の寄贈とともに、立川市・立川市教育委員会の後援を頂きながら、「第1回 東京立川こぶしロータリークラブ 小・中学生レビュー大賞」を実施させて頂きます。

この事業の目的は、読書というインプットを奨励するだけでなく、レビューという255文字以内の書評や感想を募集します。アウトプットを奨励することで、学習効果を高め、そのレビューを見た方がその本を読みたくなるという正しいスピラルが起こるのではないかと期待しています。

一昨年度にも立川市図書館に寄贈させて頂きましたが、立川市図書館が日本でもトップクラスの電子図書館になれるよう、当クラブとしても、ご協



本日のお客様 池田朋之様(左)・吉田康平様(右)



力させて頂ければと思います。

また、この事業は地区の補助金を使っています。皆様から頂いたロータリー財団への寄付が、地区で有意義な事業であると認めて頂けると、奉仕事業の資金として戻ってきます。3年前の寄付の金額に応じて、当年度の奉仕事業の枠が決まってくるとのことですので、ロータリー財団への寄付も宜しくお願ひします。

●9月13日の例会で募った青森県の大雨災害支援金が総額51,814円となりました。地区を通して被害に遭われた青森の方々の復興支援金としてお届けして、その後の報告も確認させて頂ければと思います。

◆本日のお客様

池田朋之様(立川市図書館館長)

吉田康平様(立川市図書館児童青少年サービス係主事)
読売新聞様・東京新聞様

例会次第 司会進行 SAA 志岐一欣副委員長

開会点鐘	大野芳裕会長
国歌斉唱・ロータリーソング「手に手がないで」	大野芳裕会長
会長挨拶及び会務報告・お客様ご紹介	中川夕香幹事
幹事報告	
セレモニー 電子書籍贈呈式	
委員会報告	
ニコニコ発表	親睦活動委員会
出席報告	親睦活動委員会
卓話 「立川市図書館の取組と民間・学校との連携」	出席委員会
閉会点鐘	池田朋之様
	大野芳裕会長

幹事報告

◆報告事項・会議のお知らせ

本日例会前に、2022-23年度第2回指名委員会が開催されました。

また例会後13:30より2022-23年度第8回理事会が開催されます。

中川夕香幹事



セレモニー

◆電子書籍贈呈式

大野会長から立川市図書館 池田朋之館長へ目録の贈呈を行いました。



委員会報告

◆親睦活動委員会

最近のニコニコについて、皆様からの拝出が減っていますので、来週から気合をいれて集めさせて頂きます。ご協力よろしくお願ひします。

今日の読売新聞の多摩版に、多摩エリアの映像を撮られている佐藤洋輔さんが掲載されました。YouTubeで“たちかわ楽市”や“グリーンスプリングス”等の素晴らしい立川の映像を紹介されています。立川の魅力を皆様で共有して、ロータリーとして地域に貢献したいと思いましたので、是非ご覧頂ければと思います。

伊藤良三委員長



本日の食事



本日の司会 SAA志岐一欣副委員長

立川市図書館の取り組みと民間業者・学校との連携について 立川市図書館館長 池田朋之様

《講師紹介》

池田様は、立川市図書館の館長をされており、主に図書館にいらっしゃいます。池田館長は電子図書の拡充にとても熱心で、当クラブの電子書籍寄贈事業をいつも応援して頂いています。当クラブ以外にも、(株)立飛ホールディングスやKOTOBUKIYAさんが立川への電子図書へのサポートをしておりますが、立川を代表する企業と肩を並べてサポートできることを嬉しく思っています。

大野芳裕会長

大野会長は、立川市図書館の館長をされており、主に図書館にいらっしゃいます。池田館長は電子図書の拡充にとても熱心で、当クラブの電子書籍寄贈事業をいつも応援して頂いています。当クラブ以外にも、(株)立飛ホールディングスやKOTOBUKIYAさんが立川への電子図書へのサポートをしておりますが、立川を代表する企業と肩を並べてサポートできることを嬉しく思っています。

《卓話》

【立川市の取り組み】

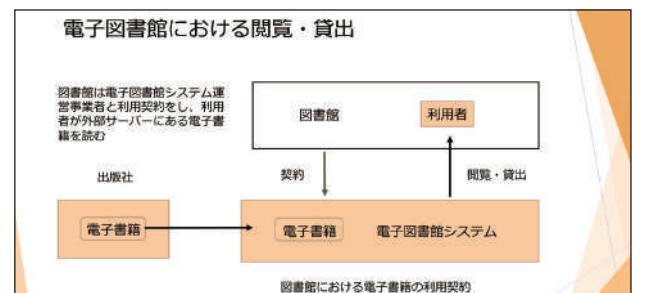
立川市は令和3年1月6日から電子図書館貸出しサービスを開始しました。



導入の経緯は、立川市の計画では、電子書籍については調査・研究をするということでしたが、令和2年の4月、5月にかけて、図書館が新型コロナウイルス感染症の関係で休館しました。外出自粛が続く中、来館しなくても、安定的に書籍の貸出しや閲覧ができる電子書籍貸出しサービスが注目されたのと、国のコロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の活用ができる見込みがたつことから、導入に踏み切りました。

当初のタイトル数は2,535点から始めて、今年10月1日現在で7,393点在庫があります。コンテンツにはライセンス期間が限定されている限定型と永久的な販売型とがありますが、いかに購入したコンテンツを読んでもらうかを重視していて、比較的新しいものは限定型が多いのですが、約3:1の割合でバランスよく購入しています。

電子図書館はシステム事業者と利用契約をしています。利用者が外部サーバーにある出版社から提供された電子書籍を読んだり、借りたりして活用する仕組みとなっています。



立川市の市税の内訳（令和3年実績）は、市税収入が若干増えていますが、法人税は年々落ちこんでいます。税収が減れば社会教育事業や図書館に投入してくれるお金も減ります。何か工夫をしなくてはいけないということで、独自財源を目指すことにしました。民間事業者と連携する中、現在3つの事業者様にご協力頂いています。

立川こぶしロータリー様には一昨年の岩下会長に話

がいきました、即答でご支援頂くことができました。頂いた净財で、こぶしRCセレクションという特集を組み、バナーも設置しました。図書館員が主に選書しまして、あとは貴クラブ会員、当時約90名からの推薦ということで構成しました。

●現在のトップ画面です。



10月1日から6分割となり、下段真ん中に青空文庫厳選50選、WEB版デジタル伊能図は、東京立川こぶしロータリークラブ様の費用負担で構成されています。

青空文庫は、もともとボランティアで著作権の切れた作品等で作り込み、誰でも見られるようなサイトとなっています。宮沢賢治や夏目漱石などの文豪を中心とした500タイトルが提供されています。10月14日から12月31日までレビュワー大賞ということで、来年1月末に優秀作品を発表するということも載せて頂きました。

民間から資金提供を受け、トップ画面に企業名、事業者名が入っています。私どもの使命としては、企業のブランドがありますので、そのブランドを低下させない責務を負っています。生半可な気持ちで運営することは許されないと自覚をもっています。日々のメンテナンス、統計分析、読者を飽きさせない、離さない、魅力ある電子書籍づくりに日々励んでいます。

【学校との連携】



立川市図書館では、子ども達にとって身近な存在になって貰えるように、読書の推進をしています。たまたま日本全国の児童・生徒に一人一台のタブレットということで、デジタル媒体で授業を受けたりしています。そのタブレットやPCを活用して、立川市図書館の利用促進があります。

この取り組みとして、小・中学生に学校用の立川電子図書館利用カードを作成し配布しました。

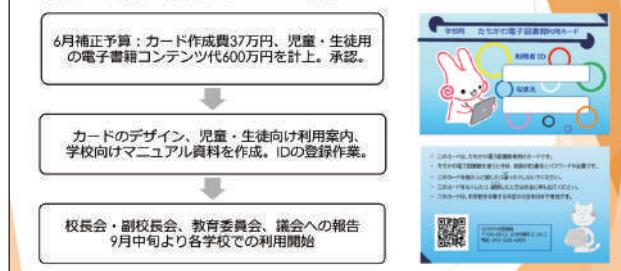
実際どのように活用されたか。令和3年6月の議会で、カード代とコンテンツ代約630万円が認められ、9月初旬から利用カードを配り始めました。

利用状態は、1月から8月までは子ども用カードを配っていましたが、配布後の9月から急激に伸びています。それまでは30代から50代が中心で、小

学生や中学生は10%に満たないような状況でした。カードの配布後、小・中学生が80%のシェアを占めています。また、中学3年生が卒業する4月以降減っていますが、6月に300冊の読み放題コンテンツを入れたことで非常に伸びたと評価しています。

利用の変化については、カードを配布する前が、小学生が1月から9月まで、249日間で実利用者が175人、中学生が112人だったのですが、同じ条件のもと、カード配布後は、4,777人、中学生1,276人と画期的な閲覧数となりました。子どもも3,000冊が90,000冊と、30倍となりました。

児童・生徒が活用するまでの準備



このことを踏まえ、これまで図書館に来なかった子や朝読で紙の本を読んでいただけの子が、電子図書を読めるようになります。アプローチについて広がりを持ったかなと思っています。

立川市の特色

小学校1年生から利用していますので、ひらがな表記もあり、平易な表現を使ったサイトも作っています。特集ページについても小学生、中学生に合わせて工夫しています。利用者の立場や目線にたって、丁寧なサイトを作るよう指示しています。

学校連携を始めて以降、小学生向けのコンテンツについては充実を図っています。現在7,400点のうち子ども向け、中高生向けが約4,300点と、半数以上が子どもの本となっています。絵本や図鑑など、子どもが興味を持つようなセレクトをして、いかに利用していくかという点で、本を揃えています。電子ツールの中で学ぶ意欲や学力向上につなげていく意味でも、この電子書籍の定着化を目指しています。

【継続的な図書館運営の課題】

「今回は、一般財源で購入しない」となった場合、購入費はどこから調達するのかということですが、立川市では民間と連携し、互いに電子図書館の魅力を共有して、発展させていきたいと思います。図書館と民間との連携という枠組みで、どのようなレベルアップができるかを目指しています。一人一台のタブレットやPCの配備で、コロナ禍でギガスクール構想が前倒しとなり、デジタル化やICT化も進んでいます。アフターコロナを見据えて、デジタル環境が整ってきた今、立川電子図書館普及に向けて、全力を出してまいります。この立川市図書館を「日本トップレベルの電子図書館へ」というロゴで、非常に良い後押しをして頂いています。

今後共、立川こぶしロータリークラブ様のご支援を頂いて、この日本トップレベルの電子図書館へ押し上げて頂きますようお願いするとともに、立川市図書館もそれに甘んじることなく、自ら進んで電子図書館を盛り上げて行きたいと思います。